

2022年1月26日

関係者各位

独立行政法人国立科学博物館
標本資料センター 神保 宇嗣

第38回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催について（案内）

平素より自然史標本データ整備事業にご協力下さり、ありがとうございます。

第38回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会を下記のとおり Zoom を利用して開催します。昨年に引き続き、本年も新型コロナウイルス対策のため、対面集会ではなくオンライン形式での開催にさせていただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。ご参加いただける場合には、2月20日（日）までに下記の事前申し込みフォームよりお名前、ご所属をご連絡ください。

記

日時：2022年2月26日（土） 13時30分～16時

場所：Zoom を利用したインターネット会合

事前申し込み：<https://forms.gle/mrgRCc8acxegh9MJ8>

※受付後、開催週の初め頃までに Zoom の URL をお知らせします。

申込締め切り：2022年2月20日（日）24時

主催：国立科学博物館

協力：NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラムは別紙をご覧ください。

本件に関する連絡先

国立科学博物館

神保 宇嗣・高田 悠希

電話：029-853-8277 E-mail：s-net_info@kahaku.go.jp

第 38 回 自然史標本情報発信に関する研究会
—分類群同定の基礎と専門家・分類学者との連携—

国内の自然史系博物館等では、学芸員・職員が自身の専門分類群だけでなく、幅広い分類群を担当しなければならないケースが多くあります。多様な業務をこなしながら、近年の分類体系の把握や幅広い分類群の同定・標本作製・コレクション管理を行うことは容易ではありません。今回のオンライン会合では、いくつかの分類群について、同定方法の基礎や有用ツールの紹介、近年の分類体系およびその問題点を研究上のエピソードなどを交ぜつつ解説します。また、同定依頼の方法や分類学者が求める標本状態など、博物館と分類学者との連携についても改めて着目した話題の提供をいたします。例年、2 月頃開催の研究会は実習形式で行っていますが、オンラインでは困難が予想されますので、このような実践的な内容を伴う講演会形式にいたしました。

サイエンスミュージアムネット (S-Net) 上の自然史標本等のデータが 600 万件を超え、GBIF から提供されるオカレンスデータも 19 億を超え、データの活用が進みつつあります。その一方で、同定の精度や誤りがデータ品質に影響を与えることも事実です。今回の会合を通じて、より品質の高いデータ提供と、一層のデータ活用だけでなく、各博物館での幅広い分類群のコレクション構築に結びつけたく思います。

<プログラム> 13:30 ~ 16:00

- ・開催挨拶、注意事項
- ・イントロダクション (趣旨説明等) 神保 宇嗣 (国立科学博物館)
- ・講演 1: 「図鑑を見ても名前がわからないのはなぜか？」を書いたのはなぜか?
須黒 達巳 (慶應義塾幼稚舎)
- ・講演 2: 整理はしても、同定するな! 維管束植物標本の山に立ち向かう方法
海老原 淳 (国立科学博物館)
- ・講演 3: コケ植物の分類体系の現状と標本作製・コレクション管理
井上 侑哉 (国立科学博物館)
- ・講演 4: 日本産魚類の同定 ~方法, 有用ツールおよび種名リスト~
中江 雅典 (国立科学博物館)
- ・講演 5: ゴキブリ類の採集・標本作成時の取り扱いと日本産種の近年の研究について
柳澤 静磨 (竜洋昆虫自然観察公園)
- ・講演 6: 同定依頼: する側とされる側がやるべきこと
渡辺 恭平 (神奈川県立生命の星・地球博物館)
- ・全体での質疑など
(各講演は発表 15 分・質疑 5 分です)

ご参加いただくには、事前のお申し込みが必要です。

下記のサイトより、お申し込みいただければ幸いです。

事前申し込み: <https://forms.gle/mrgRCc8acxegh9MJ8>

※受付後、開催週の初め頃までに Zoom の URL をお知らせします。